

「環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー会議」規約

（名称）

第1条 本会議の名称は次のとおりとする。

「環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー会議」
～「淀川水系桂川上流圏域河川整備計画」に基づく霞堤の嵩上げ～
（以下、「霞堤アドバイザー会議」という。）

（目的）

第2条 桂川霞堤の嵩上げ計画立案にあたり、保津峡上流区間における上下流の河川改修の整合性を考慮した嵩上げ順序、希少種への影響が懸念される箇所の生息調査や河川工事実施時の対策方法等について、必要なアドバイスを受けることを目的とする。

（組織）

第3条 霞堤アドバイザー会議は別表に掲げるアドバイザー、構成機関、事務局をもって構成する。

- 2 アドバイザーに座長1人を置く。
- 3 座長はアドバイザーの互選により決定する。
- 4 アドバイザーは事務局が委嘱し、事務局は必要に応じて、アドバイザーを追加することができる。

（会議）

第4条 霞堤アドバイザー会議の運営、進行及び招集は事務局が行う。

- 2 事務局は京都府河川課、南丹土木事務所河川砂防課、亀岡市桂川・道路交通課とし、南丹土木事務所河川砂防課が総括する。
- 3 霞堤アドバイザー会議が必要と認めるときは、組織以外の者の出席を求め、意見聴取及び説明を求めることができる。

（情報公開）

第5条 霞堤アドバイザー会議における希少種の生息情報や意思形成過程の図面、図表、解析資料は原則、非公開とする。

（その他）

第6条 本規約に定めが無い事項は、霞堤アドバイザー会議において定める。

附則

本規約は、令和3年10月11日より施行する。

「環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー会議」
 ～「淀川水系桂川上流圏域河川整備計画」に基く霞堤の嵩上げ～

組織

組 織	所 属	氏 名
アドバイザー	環境省希少野生動植物種 保護推進員	阿部 司
	京都大学防災研究所 教授	角 哲也
	京都大学防災研究所 准教授	竹林 洋史
	大阪公立大学国際基幹教育機構 客員研究員	竹門 康弘
	リバーリバイバル研究所 主宰	新村 安雄
構成機関	京都府総合政策環境部自然環境保全課	係 長
	京都府教育庁指導部文化財保護課	係 長
	亀岡市まちづくり推進部都市整備課	課 長
	亀岡市まちづくり推進部土木管理課	課 長
	亀岡市環境先進都市推進部環境政策課	課 長
	亀岡市教育委員会歴史文化財課	課 長
事務局	京都府建設交通部河川課	係 長
	京都府南丹土木事務所河川砂防課	課 長
	亀岡市まちづくり推進部桂川・道路交通課	課 長

(アドバイザーは敬称略：五十音順)